

令和2年度 第2学年国際理解コース 第1回模擬授業 (報告)

9月17日(木)の6・7時間目に、本年度第1回目の模擬授業を受けました。コロナで受講できないことを心配していましたが、対面授業をしていただきました。

南山大学外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科教授の泉水 浩隆先生にお越しいただき、「英語以外の外国語を学ぶ意味とは」と題して、講義とスペイン語簡単講座をしていただきました。

講義では、「英語をなぜ学ぶのか?」「国際語とは果たして英語だけなのか」など、普段は疑問も持たずに英語を学んでいたが、外国語=英語ではないことを改めて考え、ほかの言語を学ぶ楽しさや利点に気づくことができました。

スペイン語講座では、スペイン語はローマ字読みの発音で、日本人にとってはとても発音しやすいことや、身近で見つけたスペイン語などを知り、生徒は大変興味を持って練習していました。「今回の授業でスペイン語にもっと興味がわいたし、ほかの言語も調べてみたいと思った。」「大学でどんなことを学びたいか、また1つ選択肢が増えた。」という感想が多くみられ、充実した2時間でした。

